

ついでに 宇都宮

CONSTRUCTION
vol. 332
2025

【題字】宇都宮市長 佐藤栄一様



出初式 写真提供：岩村建設(株) 齋藤 隆久 様



一般社団法人 宇都宮建設業協会



令和7年 新年挨拶

一般社団法人 宇都宮建設業協会
会長 野澤 充広

あけましておめでとうございます。令和7年の新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

旧年中は、当協会の活動に対しまして格別のご理解とご協力を頂戴し、厚くお礼申し上げます。

さて、改めて令和6年を振り返りますと、7月から8月にかけて開催されたパリオリンピックにおきまして、陸上女子やり投げの北口榛花選手がフィールド種目では日本の女子選手で初めてのメダルとなる金メダルを獲得するとともに、宇都宮市出身者として、レスリング女子76キログ級の鏡優翔選手が女子最重量級で日本初の金メダル、競泳男子400メートル個人メドレーで松下知之選手が日本競泳陣唯一のメダルとなる銀メダルに輝くなど、金メダル数、メダル総数ともに過去最高を記録し、多くの市民に夢と感動を与えてくれました。

また、8月には我々が総力を挙げて整備に取り組んできた宇都宮ライトレールが開業1周年を迎え、11月には、開業からの乗客数が600万人に達するなど、すでに宇都宮市になくはない交通手段となりました。

そして、10月には第50回衆議院議員選挙、11月には栃木県知事選挙並びに宇都宮市長選挙が執行され、いずれも、これまでの実績と国づくり、地域づくりへの確かな政策を評価された現職候補が当選を果たされました。会員の皆様に対しまして、改めて感謝を申し上げます。

一方で、私たち建設業におきましても、昨年4月から時間外労働上限規制が適用され、一刻の猶予も許されない「長時間労働の是正」をはじめとした働き方改革の実現や、依然としてなくならない労働災害の撲滅、さらには栃木県及び宇都宮市における受注環境の変化など、対応すべき課題が山積しております。

当協会といたしましては、引き続き、総合的な労働災害防止対策に会員一丸となって取り組むとともに、地域の建設業において、将来にわたり健全で安定した経営基盤を構築できるよう、働き方改革に資する発注方式の実現やIT技術・ICT建機等の活用による生産性の向上、継続的かつ安定的な事業量の確保などに向けまして、関係機関等への建議・要望活動等も積極的に行ってまいりますので、皆さまのさらなるご支援・ご協力をお願い申し上げます。

今年は「乙巳（きのとみ）」の年にあたります。乙（きのと）は、十干の2番目で「木」の要素を持ち、草木がしなやかに伸びる様子や横へと広がっていく意味を持ちます。

また、巳（み・へび）は神様の使いとして大切にされてきた動物で、脱皮を繰り返すことから不老不死のシンボルともされております。

そのため、乙巳（きのとみ）の年は「再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく」年になるとされています。

今、宇都宮市におきましては、LRTの宇都宮駅西側への延伸を見据え、駅西口の再整備や沿線の再開発などが動き出すとともに、栃木県においても、新たな「文化と知」の創造拠点となる、県立美術館、県立図書館及び県立文書館の再整備が本格化するなど、まさに、街が再生や変化の時期を迎えようとしています。

県民、市民からの大きな負託を受けた知事、市長の強いリーダーシップのもと、私たちの地域が、さらなる発展を遂げる年となることを願ってやみません。

結びに、令和7年が、皆様にとりまして希望に満ちた明るい年となりますことを祈念申し上げまして、新年のご挨拶といたします。

令和7年 新年挨拶



栃木県知事
福田 富一

皆様、あけましておめでとうございます。年頭に当たりまして、謹んでご挨拶を申し上げます。
私は、昨年の知事選挙におきまして、多くの県民の皆様から御支持をいただき、引き続き県政運営を担うこととなりました。県内各地で県民の皆様の実情な声やふるさと「とちぎ」に対する熱い思いをお伺いし、改めて知事としての責任の重さを実感しているところであります。

さて、昨年は、まち・ひと・しごと創生法が施行され、地方創生の取組が本格化して10年の節目を迎えました。国におきましては、「新しい地方経済・生活環境創生本部」を設置するとともに、「地方こそ成長の主役」との発想に基づき、これまでの取組の成果と反省を生かし、「地方創生2.0」として再起動させるとしております。

県といたしましては、こうした国の動きも踏まえながら、栃木の未来創生に向け、計画期間の最終年度を迎える栃木県重点戦略「とちぎ未来創造プラン」及び「とちぎ創生15戦略(第2期)」に掲げる各種施策を積極的に展開し、併せて、両計画を一本化した次期プランの策定を進めて参ります。

特に、県立美術館、図書館及び文書館につきましては、現在、「文化と知」の創造拠点として一体的に整備する構想の策定を進めているところであります。新たな施設が本県の文化振興の中核として、将来にわたり県民に愛され、誰もが誇りに思える、とちぎならではの拠点となるよう、引き続き、丁寧に検討して参ります。

知事6期目の新たな年を迎えるに当たり、私自身がオールとちぎの先頭に立ち、「誰もが未来に夢や希望を持てる栃木」、「豊かさを実感できる栃木」の実現に向けて、全身全霊で取り組んで参りますので、より一層の御理解と御支援をお願いいたします。

本年が皆様にとって素晴らしい年となりますことをお祈り申し上げまして、新年のごあいさつといたします。



宇都宮市長
佐藤 栄一

本年も、市民の生命や暮らしを守ることを第一に、激甚化する大雨への対応として、洪水被害の効果的な解消を図るための河川整備をはじめとした、治水・雨水対策を総合的に推進していくとともに、物価高騰への対策など、喫緊の課題にしっかりと対応してまいります。

その上で、子育て支援を更に充実させるため、子どもの遊び場の増設や屋内プールの新設に向けて検討を進めるとともに、プロスポーツチーム支援など、スポーツを活用したまちづくりを加速化してまいります。

また、J R宇都宮駅西口周辺地区の整備基本計画の策定やまちなかの民間開発事業に対する支援などのウォークアブルな都心部まちづくりと、ライトラインの駅西側への延伸に向けた軌道事業の特許申請のための取組や道路整備などの交通ネットワークの充実・強化を、官民が一体となって進めてまいります。

宇都宮が国内外から注目されているこのチャンスを逃さずに、本市への投資を呼び込み、「稼ぐ力」を創出するとともに、未来への投資を自ら積極的に行うことで、今を生きる市民と未来を生きる子どもたちが明るい未来を持つことができるよう、誰もが豊かで便利に安心して暮らすことができ、夢や希望がかなうまち「スーパースマートシティ」を実現してまいります。



上三川町長
星野 光利

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、5月に本町の生涯学習・子育て支援の複合拠点施設であるORIGAMIプラザがオープンを迎えました。若者や子育て世代、ご高齢の方と幅広い世代の方にご利用いただいております。今後も町民の皆様をはじめ多くの方に愛される施設となるよう努めてまいります。

本町では、持続可能で活力あるまちづくりに向けた土地利用施策として、昨年6月に栃木県に「上三川町新産業団地の整備に関する要望書」を提出、さらに昨年10月に「(仮称)「道の駅かみのかわ」基本構想」を策定するなど、交通便利性に優れた本町の特性を活かした新たな拠点の形成を着実に推進しております。

また、今年は、町政70周年の節目を迎える年でございます。記念事業として、地域と協働した様々なイベントを企画し、先人たちの功績に感謝をしつつ、本町のさらなる発展のため皆様と共に目指すべき未来像を描き、その実現に向けた新たな一歩を踏み出す年としたいと考えております。

結びに、皆様にとりまして本年が希望に満ち溢れた年となりますよう心から祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



2024.10.24(木)

令和6年度 建設業災害防止安全対策セミナー開催

建設業労働災害防止協会栃木県支部宇都宮分会（野澤充広分会長）は令和6年10月24日、とちぎ福祉プラザにて150名の出席者を集め、令和6年度建設業災害防止安全対策セミナーを開催しました。

冒頭に野澤分会長より「本日の安全セミナーを通して、さらに安全対策の重要性を意識し、労働災害の撲滅に向けて努力するとともに、働きやすい職場の実現に向けて協力をお願いしたい」との挨拶があり、続いて宇都宮労働基準監督署の野澤卓也署長、宇都宮土木事務所の松本茂所長、宇都宮市建設部の矢野公久部長、建災防栃木県支部谷黒克守支部長の代理で相馬克美副支部長から来賓挨拶がありました。

その後、宇都宮建設業青年の会の津野田哲会長が労働災害撲滅の決意表明を行い、続いて宇都宮労働基準監督署の刈部秀一副署長、宇都宮中央警察署交通総務課の宮田亜衣子課長、宇都宮市保健福祉部健康増進課の高木麻美主任、建災防栃木県支部の古川弘専務理事兼事務局長の安全衛生講話があり、講話の途中に日本健康財団指導のもとリフレッシュ体操を行うなど、充実した安全対策セミナーとなりました。（鈴木隆之）



セミナーの様子



宇都宮労働基準監督署・野澤署長挨拶



野澤分会長挨拶



日本健康財団によるリフレッシュ体操



2024.11.14(木)

土木の日・CCI クリーンアップキャンペーン

令和6年11月14日、当協会は11月18日の土木の日にちなんで、「土木の日・CCI クリーンアップキャンペーン」を宇都宮土木事務所職員・当協会員合わせ総勢約90名の参加のもと開催しました。

野澤会長は、「クリーンアップは、当協会の重要な社会貢献活動となっている。建設業の存在価値や役割を県民に理解していただけるよう、活動を継続していきたい」とあいさつ。その後、建設委員会の手塚副委員長による作業内容や実施要項・注意事項等の説明を受けた後、参加者は11班に分かれそれぞれの担当場所へと移動して行きました。

大通り、鬼怒通りの両側の歩道や裁判所前の公園ではゴミ拾い、宮の橋付近の田川両岸では、河川敷等の草刈りやゴミ拾いを実施しました。

当日は協会のロゴの入ったベストを着用し、冒頭の会長挨拶にもありました、建設業の存在価値等をPRできた活動となりました。（鹿野雄久）



宇土木・松本所長挨拶



3班・桜通り～県庁 北側



10班・宮の橋～幸橋 左岸



愛リバー横断幕設置状況

委員会 活動報告

令和6年度 協組促進委員会活動報告

今年度、委員会の再編成により委員長をはじめ委員にも未経験者が多く不慣れではありますが、これまでの活動を引き継ぎ、以下の事業を進めています。

- ①栃木県宇都宮土木事務所業務委託の対応
- ②宇都宮市営住宅業務委託関係業務の対応
- ③L R T維持管理関係業務委託化への模索
- ④新規共同受注事業拡大への調査、会員拡大の推進等

加えて、今年度は国交省宇都宮国道事務所の依頼で「宇国サマーフェス」の開催準備を進めていましたが、残念ながら台風の影響により中止となってしまいました。

引き続き委員一同、発注事業者と協同組員との良好な関係づくりと組合事業の改善に努めていきます。

(阿久津信一)

協組促進委員会



協会活動の正しい理解と活性化のために

今年度の総務委員会の主な活動は以下のとおりです。

- ①広報誌「けんせつ宇都宮」の発刊
「けんせつ宇都宮」は(一社)宇都宮建設業協会の活動や会員企業の動向などを広く地域の皆様や発注機関に知っていただくためのもので、年間3回(6、11、1月)発刊しています。
- ②親睦会の計画・実施
親睦会では旅行やスポーツ等を企画し、会員相互の親睦を図りました。今後も地域に貢献する宇建協の活動を中心に皆様に発信してまいります。
- ③インターンシップの受入対応

今年度は県内の工業系高校4校(宇都宮工業、宇都宮白楊、今市工業、小山北校)より男子36名・女子11名、合計47名の生徒を、会員企業38社で10~11月にかけて受け入れました。研修期間は各校各学科とも月曜日から金曜日までの5日間であり、未来の建設技術者育成のための有効な指導・教育を実施することができました。

(渡辺眞幸)

総務委員会



地域の安心・安全のために!

建設委員会は、河川清掃活動のほか、災害発生時(自然災害・家畜防疫)に迅速に対応するための訓練を実施するなど、地域の安全・安心に貢献する活動を行っております。

- 【3月・5月・9月】愛りバー河川清掃活動の実施
- 【4月】LINEを利用した情報伝達訓練の実施「各委員会対応」
- 【5月】水防訓練(千葉)への参加
- 【6月】令和6年度「情報伝達訓練」実施
(宇都宮土木事務所・宇都宮市役所・上三川町・宇建協との合同)
- 【7月】「川の日クリーンアップ清掃活動」実施(宇都宮土木事務所との合同)
河内地域家畜防疫対策現地連絡会議への出席
- 【8月】宇都宮市総合防災訓練への参加
- 【11月】令和6年度河内地域家畜防疫演習への参加
「土木の日クリーンアップ清掃活動」実施

(菊池祥一)

建設委員会



安心・快適に働くことができる環境づくり

建設現場の巡回により、安全作業が日々確実にに行われているかの確認を行い、また意識の向上を図るため講習会などを実施し、労働災害を防止する活動をしています。

- ◎パトロール12回(毎月1回)
 - ・公開パトロール【7・10・2月】
(宇都宮労働基準監督署・発注行政機関担当者・建災防栃木県支部・建災防安全指導者・会員店社安全管理責任者)
 - ・非公開パトロール【4・5・6・8・9・11・12・1・3月】(宇都宮労働基準監督署)
- ◎講習会の開催ほか
 - ・安全管理者講習会【7月】
 - ・建災防栃木県支部安全大会【9月】
 - ・全国建設業労働災害防止大会【10月】
 - ・建災防宇都宮分会安全対策セミナー【10月】
 - ・暴追対策・交通安全講習会【12月】

(庭野宏隆)

安全委員会





2024.12.5木

令和6年度 暴力団対策 及び交通安全に関する講習会開催

宇都宮建設業協会は令和6年12月5日に栃木県建設産業会館にて「暴力団対策及び交通安全に関する講習会」を開催しました。

当日は会員企業から約60人が参加し、公益財団法人栃木県暴力追放県民センターと宇都宮中央警察署警備課、交通総務課より講師を招き、講話をいただきました。講習に先立ち、野澤会長から「昨今、トクリュウによる特殊詐欺や強盗事件が多発しており、その排除には相手をよく知ることがますます重要。また、本県内における交通事故死亡件数は増加傾向にあり、慌ただしい年末年始に向かうにあたり改めて事故防止について考え、その対策に万全を期さなければならない」との挨拶がありました。続いて、栃木県暴力追放県民センターの寺崎専務理事からの講話では、「企業におけるカスタマーハラスメント対策について」として事例と特徴について説明があり、企業をあげての理解と対策が必要とのお話をいただきました。その後、宇都宮中央警察署警備課の坂入課長より「右翼対策及び外国人労働者雇用について」、同交通総務課の宮田課長より「交通安全先進県とちぎを目指して」と題した講話があり、それぞれの諸問題を近年のエピソードや今後の展望も交えてお話いただきました。（船見佳正）



未来の力を活かすために

建 FES GO! ～建設のむ仕事体験～

2024.10.19土

今回で3回目を迎えた栃木県建設業協会青年経営者連合会主催の職業体験型イベント『建FES GO!』が令和6年10月19日に宇都宮市の道場宿緑地公園で開催されました。（協賛：CCIとちぎ、とちぎ建設技術センター、後援：国土交通省関東地方整備局下館河川事務所、栃木県、宇都宮市教育委員会）

本イベントは地域住民の皆様へ我々の仕事である社会資本整備の重要性についての理解を深めていただき、お子様方にはお金を稼ぐことの意味について感じてもらうとともに、一人でも多くのお子様へ我々の業界に興味を持ってもらうために開催しています。

以前までは、原則的にオンラインで事前予約をしたお子様が職業体験対象者でしたが、今年から事前予約制度を撤廃したことにより、前年度の来場者数を上回る約5,000人もの方々にご来場いただきました。

宇都宮建設業青年の会も参加・協力させていただいている本イベントでは、お子様たちに仕事の体験を通して建設業の楽しさや働くことの素晴らしさを感じてもらう『建設職業体験エリア』、重機等の展示を行う『展示ブース』、キッチンカーによる食事提供を行う『フードスペース』が設けられ、『ステージ』では大道芸や丸太切りクイズ、ダンス発表会、大声選手権などが行われました。



イベント当日、宇都宮建設業青年の会では建設職業体験エリアにて『うちの組み立て大工体験』をお子様方に体験していただきました。お子様方には職業体験をしていただいた対価として紙幣（イベント通貨）をお渡しし、ご自身で稼いだ紙幣とお菓子を交換することにより、働くことの意義や達成感などを学んでいただきました。（菊池俊也）





2024.11.17日

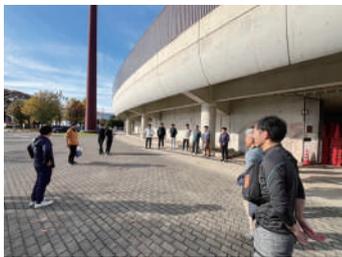
宇都宮マラソン大会コース設営

令和6年11月17日、宇都宮建設業青年の会は清原中央公園・清原工業団地内道路において、カラーコーン、バーの設置による第38回宇都宮マラソン大会のコース設営を行いました。

この日は快晴で絶好のマラソン日和となり、ランナーは小学生から大人まで4,573人、来場者数約14,000人と過去最大の盛り上がりとなったようです。ゲスト、ブース、キッチンカーも充実しており、私たちスタッフも空き時間を楽しむことができました。

作業は昨年のエリアとは異なる場所、時間もありませんでしたが、事故や怪我もなく、時間調整なども滞りなく行うことができ、ランナーの方々の安全と快適な走りを確保することで大会の運営に貢献することができました。

(轟 昂洋)



▲マラソン大会協賛広告



2024.10.20日

宇都宮城址まつり

宇都宮建設業青年の会（津野田哲会長）は令和6年10月20日に「宇都宮城址まつり」に参加しました。青年の会では「じゅうきワンダーランド」と題し、バックホウ、タイヤショベル、ロードローラーなどを展示し、子どもたちに搭乗体験をしてもらうイベントを開催しました。

子どもたちは普段は近寄ることのできない重機を驚きの眼差しで見つめるだけでなく、実際に運転資格者と一緒に乗り込み、バケットを動かしたり旋回したりすることで、重機と重機を扱う建設業のことを、今までよりも身近に感じてもらったのではないかと思います。子どもたちの明るい笑顔と、それをカメラに収める、こちらも笑顔の保護者の方々の姿が印象的なイベントとなりました。

(清水一樹)



(一社)宇都宮建設業協会伝統の「忘年かすのゴルフコンペ」(第1回大会、昭和54年12月)が、去る令和6年12月26日に宇都宮カンツリークラブにおいて27名が参加し開催されました。

当日は天候にも恵まれ、参加者は元気いっぱいプレーに励み、日頃の運動不足の解消とともに会員間の親睦を深めて、楽しい時間を過ごすことができました。

競技は18ホールストロークプレーでベリア方式にて行われ、結果は野中建設(株)会長の野中耕一様が見事優勝に輝きました。

去年は衆議院、知事、市長選挙が重なり、皆様お疲れさまでした。

本年が明るい一年となりますよう、健康に留意してご自愛ください。

(仙波義輝)



宇建協会員の皆様の安全・安心をお手伝いします



■ 山本損保 プロ保険サービス

〒320-0056 宇都宮市戸祭2-11-39 (文星女子高交差点角)

TEL:028-625-5555 FAX:028-624-9630

編集後記

新年あけましておめでとうございます。本年も「けんせつ宇都宮」をよろしく願いいたします。

LRTが運行を開始して1年が経過し、利用者数は想定を上回る賑わいを創出しています。駅西側への延伸も本格化し、さらなる発展が期待されます。そうした中、昨年10月に『地球の歩き方 栃木』が発売されました。宇都宮市をはじめ、全25市町の知られざる魅力が徹底紹介されており、この本を通じて、地元の再発見はもちろん、県外や海外の方々にも栃木の良さを知っていただき、各地を訪れていただければと思います。

さて、本年の干支は、“乙巳(きのと・み)”です。乙巳は成長と変革を意味し、『物事が大きく前進する年』とされています。古くから巳年は新たな道が開ける年とされ、発展や飛躍が期待されるという言い伝えがあります。

宇都宮市・関係諸機関と連携強化を図り、宇都宮建設業協会並びに全会員の皆さまが大きく飛躍できる年となりますよう、力を合わせ頑張ってください。

本年もよろしくお願い申し上げます。

(渡辺眞幸)

